

## 第3次函館市男女共同参画基本計画(素案)に対するパブリックコメント(意見公募) 手続の実施結果について

○案件名	第3次函館市男女共同参画基本計画(素案)
○募集期間	平成29年12月1日～平成30年1月5日
○担当課	市民部市民・男女共同参画課
○意見提出者数	2件(2名)

第3次函館市男女共同参画基本計画(素案)に対する意見の概要と市の考え方

※意見の概要については、原文を要約して載せています。

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>5ページ 基本目標2 で条例の基本理念6 に「国際社会の動向への留意」とあることから、今回の第3次函館市男女共同参画基本計画に書かれている施策等が、2015年9月国連で採択され、日本も加盟国になっているSDGsの目標・ターゲット・指標の何番に対応しているのかを明記したほうが良いと思います。因みに、ジェンダー平等は目標5番に該当します。</p> <p>すでに、NPOの中では、自分たちの活動がSDGsの指標何番に基づいた活動なのかを明記する必要性が強く共通認識になっていますし、北海道庁も施策を考える際、SDGsのどの指標に当てはまっているのかを記載いただいたことがあります。</p> <p>北海道は、札幌市が第2次札幌市環境基本計画へのSDGs導入を検討しているなど、全国的にみても先進地と言われています。</p> <p>函館市においても、いち早く導入することを期待しております。</p>	<p>2015年(平成27年)に、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、このなかに掲げられた「持続可能な開発目標(SDGs)」では、政治、経済、公共分野での意思決定の場において完全かつ効果的な女性の参画等をターゲットとした「ジェンダー平等」などの目標が定められました。</p> <p>本市としても計画策定にあたり、国際社会の動向に対して留意すべき重要事項であると考えますので、計画素案のなかで本文および資料編に追加記載をいたします。</p>

番号	意見の概要	市の考え方
2	<p>函館市は、全国・全道と比較しても、男女共同参画が進んでいない都市のようです。原因は多々あると思いますが、一番大きな要因となっているのは、「行政が男性の育児参画推進に消極的であること」です。</p> <p>女性の社会進出と男性の家庭進出は表裏一体の関係であり、一方だけ押し進めようとしても決して上手くいきません。男性の家庭進出を進めずに、女性の社会進出だけ進めようとしたところで、仕事も家事も育児も女性が担わなければいけなくなり、無理が生じるからです。</p> <p>それは函館市の低い出生率にも現れており、加速する少子化の原因にもなっています。</p> <p>注目すべきなのは、千歳市や苫小牧市のように、ワークライフバランスの実現に積極的に取り組み、市長自ら「イクボス宣言」をして、働き方を見直し、男性の育児参画推進に取り組んでいる都市は、出生率も高く、男女共同参画も進んでいるということです。</p> <p>長時間労働の縮減、ワークライフバランスの実現により、男性が家事・育児を担うことができるようになれば、女性は社会に進出することができます。そして安心して子供を産み育てていけるようになります。そのために、男性の育児参画を強力に押し進めていく必要があります。</p> <p>そう考えると、男女共同参画の推進を行う施設が「女性センター」という名称なのはおかしいです。「男女共同参画センター」に改称し、男性にも男女共同参画に関心を持ち、関わっていけるような施策を思い切って打ち出していくべきなのです。</p> <p>また、毎年開催されているワークライフバランスセミナーについてですが、正直なところ、内容がありきたりで、受講者の心に響くものがあまりありません。人を動かすのは理論ではなく心です。なぜ、ワークライフバランスが必要なのか、長時間労働がこれまでにどんな悲劇を生んできたのか、男女ともに働き、家事・育児を分担していくことでどんな喜びや幸せがあるのか、そんな心に響く話をできる講師を選んでほしいと思います。</p> <p>厚生労働省「イクメンプロジェクト」によると、全国各地で自治体が工夫を凝らして男性の育児参画やイクボスの取り組みを行っています。函館市もやりますか？</p>	<p>平成28年度に実施した市民意識調査の結果から、「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的役割分担意識が、女性より男性に根強く残っていることが明らかになったところがあります。</p> <p>したがって、第3次基本計画では、男性の家事・育児等へのさらなる参画を促すための学習機会の提供などにより、男女共同参画への男性の理解の促進と意識改革に努めるとともに、男女がともに仕事と家庭を両立するための意識啓発活動や、事業者に対する就業環境・労働条件の改善の働きかけにより、ワーク・ライフ・バランスを推進してまいります。</p> <p>また、本計画において、男女共同参画の拠点施設である「函館市女性センター」について、施設名称の変更や類似施設との統合・移転について検討することとしております。</p> <p>なお、具体の取り組みに係るご意見については、今後の施策の推進にあたって参考とさせていただきます。</p>

<p>意見等を考慮した結果の修正案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 6 上から 10 行目の次に以下のとおり追加する。        なお、2015年（平成27年）に、国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、このなかに掲げられた「持続可能な開発目標（SDGs）」では、政治、経済、公共分野での意思決定の場において完全かつ効果的な女性の参画等をターゲットとした「ジェンダー平等」などの目標が定められており、この計画の推進を通じて目標の達成をめざします。</li> <li>・ P 5 1 世界（国連）2015（平成27年）に以下のとおり追加する。        ○「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（SDGs）採択        目標5：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</li> </ul>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>函館市市民部市民・男女共同参画課        電話 21-3470 FAX 23-7173        E-mail : danjokiyodo@city.hakodate.hokkaido.jp</p>